

ホラッ 7月の  
屋外園が呼んでいますよ!!  
京都市青少年科学センター

**二千年も生き続けたハスの種**

千葉県の検見川から掘り出された二千年前のハスの種が大賀一郎博士によって発芽し花を咲かせたことからこのハスの種は生き続けたことがわかりました。**大賀ハス・二千年ハス**と名づけられました。屋外園のハスは 2013 年千葉市から分根により譲り受けた**オオガハス**です。

**ハマオモト (ヒガンバナ科)**

海辺で見られます。ハマユウとも言います。白い花には芳香があり虫がよく訪れます。

**ソテツ (ソテツ科)**

南九州や沖縄県の海岸の崖地に自生しています。雌雄異株。今、屋外園のソテツの雌株に赤い種子が見られます。

**ダイオウショウ (マツ科)**

アメリカ南東部原産。和名は大王松。葉が長くて球果(まつぼっくり)が大きいので大王にたとえて名前がつけられました。葉は3枚です。

**マリーゴールド (キク科)**

丈夫で開花時期が長いので、夏・秋の花壇によく植えられます。フレンチ種、アフリカ種などの品種があります。花色も赤・橙・黄・白など豊富です。

**ヤブガラシ (ブドウ科)**

藪を枯らす勢いで伸び広がることからこの名がつけられました。花の蜜にハチ類などが集まります。

祇園祭の花

**ヒオウギ (アヤメ科)**

葉が重なり合うように並ぶ様子が昔貴族が使った檜扇ひおうぎを思わせることからこの名がつけました。「祭りの花」として知られ、祇園祭には厄除けの花として活けられます。黒色の種を「射干玉：ぬばたま」または「烏羽玉：うばたま」と言います。



カブトムシの家

期間：7月14日～8月中旬まで公開!

1日3回(10:00, 13:25, 15:50)

夏季休業期間以外の平日は1日1回(14:15)

**オニユリ (ユリ科)**

オレンジ色の美しい花を咲かせます。花の内側には黒紫色の斑点があります。葉のわきに紫色のムカゴがつけます。

**ボダイジュ (アオイ科) (旧シナノキ科)**

淡い黄色の花が垂れ下がります。種子は堅く数珠の材料に使われます。また長い苞に風を受けてパラシュートのように飛び散ります。

**クサギ (シソ科) (旧クマツツラ科)**

葉が臭いので臭木(くさぎ)。花のよい香りに誘われてクロアゲハなどの昆虫が訪れます。青色の果実は染料に利用されます。

**カンナ (カンナ科)**

赤や黄・橙色など大型で鮮やかな花を咲かせます。育ちながら新しい花芽をつくり次々と開花します。

**ペンタス (アカネ科)**

星形の花を房状につけます。花色は赤・ピンク・白などがあります。科学センターではチョウウの家の給蜜植物として利用しています。

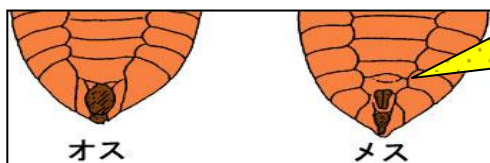
**ヘクソカズラ (アカネ科)** 「へくそかすら」

かわいそうな名ですね。たしかに少しいやな臭いがします。別名ヤイトバナ。花の内側が赤色でやいときゅう(お灸)をした痕に似ています。



セミのぬけがら オス・メスの見分け方

セミの季節です。屋外園はクマゼミの大合唱です。クマゼミやアブラゼミのぬけがらも見つかるよ。



産卵管(卵を産むための針)があります。



7月

# 花だより

京都市青少年科学センター



**屋外園が  
呼んでますよ!**